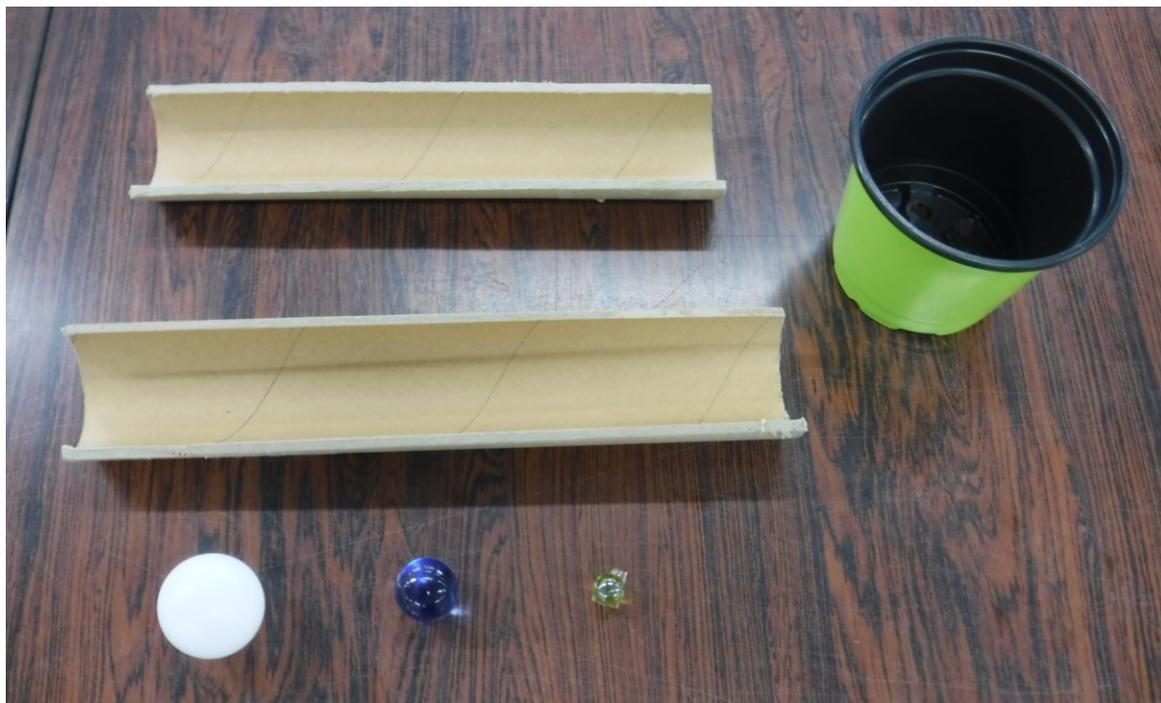


## ●パイプライン（グループ）

- （１）一人１本パイプ（半筒）を両手で持ち、グループでレール（ライン）を作る。
- （２）スタートの合図でラインの端から玉を転がし、球が通過した人はレールの進行方向に回り、レールが途切れないようにピンポン玉を転がす。
- （３）途中で球が落ちた場合は、落ちた場所からやり直す。
- （４）カップのゴールにピンポン玉を入れるタイムを競う。



- スタート位置からゴール（カップ）までの距離は人数×１メートル程度
- １グループ８人程度が活動の目安
- 年齢に応じてルールをアレンジしてみると良い
  - ・落ちた場合はスタートからやり直す
  - ・玉は途中で止めたり、逆戻りさせない。させた場合はスタートから
  - ・パイプを他のパイプと触れさせない
  - ・玉の種類を変える（ピンポン玉→ビー玉大→ビー玉小） etc.

## ●新聞紙タワー（グループ）

- （1）全グループ同じ量の新聞紙を用いる。
- （2）スタートの合図でセロハンテープも使用しながら、より高いタワーを作る。
- （3）制限時間で作業をやめ、メジャーで計測して高さを競う。

※新聞紙、セロハンテープ、ごみ袋は各団体でご準備ください

## ●どんぐり箸移し（個人）

- (1) 皿に入ったどんぐり 20 個を、30 秒以内に箸で別の皿に移し替える。
- (2) 移した個数を競う。



- 皿と皿の距離は年齢に応じて離すことにより、ゲーム性が出て良い
- どんぐりの個数や時間の変更、利き手と反対の手でやるなどのアレンジがある

## ●羽子板ラリー（ペア）

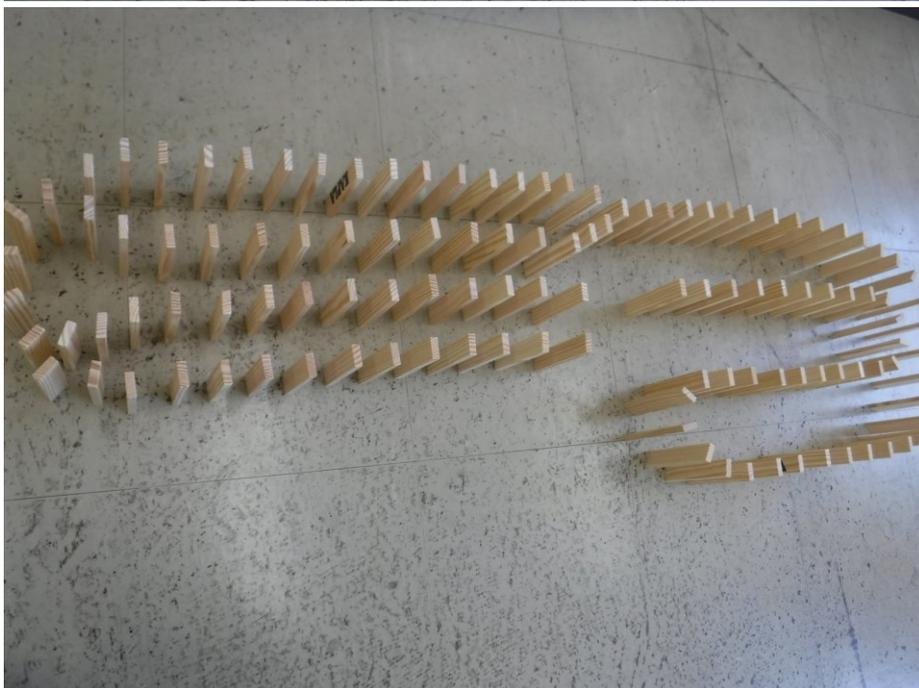
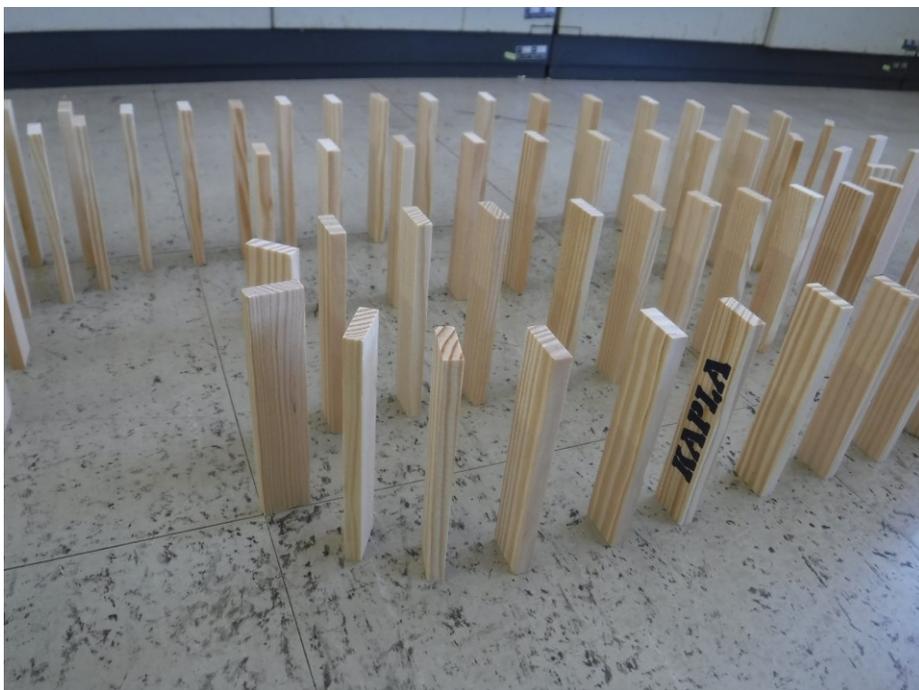
- (1) 10分間で、羽子板でラリーできた回数を競う。
- (2) ラリーの回数は連続ではなく、ラリーの総数とする。



○ラリーを行う距離を、固定もしくは任意で決めさせることによりゲーム性が出て良い

## ●ドミノ倒し（グループ）

- (1) 木の板を使ってドミノ倒しをする。
- (2) 制限時間を設け、ドミノの個数や距離を競う。



## ●木のパチンコ（個人）

（１）木のパチンコを使って玉を飛ばし、的に当たった得点を競う。



○点数の付け方は各団体の実施の実態に合わせて行う

○玉の個数や的までの距離は年齢に応じて変更する